

各位

2018年10月3日

株式会社アプリックス

(コード番号:3727 東証マザーズ)

カメラをかざすと書類や在庫がすぐ見つかる

「groma(グローマ)™」第2弾、AR 在庫管理スキャナー「Quanti™(クアンティ)」を公開

～ iOS 用アプリと AR マーカーを無料で利用可能 ～

IoT(Internet of Things)製品向けソリューションの開発を手掛ける株式会社アプリックス(本社:東京都新宿区、代表取締役 兼 取締役社長:長橋賢吾、以下「アプリックス」)は、AR(Augmented Reality:拡張現実)在庫管理スキャナー「Quanti™(クアンティ)」を開発し、2018年10月3日(水)に、日本をはじめ全世界の App Store で公開しました。

Quanti



※画面はイメージです。

「Quanti」は、書類や在庫に iPhone のカメラをかざすだけで、それらに貼られている複数の AR マーカーを同時にスキャンし、その中から見つきたいものを素早く探し出すアプリです。

「Quanti」のダウンロード、利用、AR マーカーの出力いずれも無料で、ユーザー登録などの必要もありません。法人・個人問わず気軽にお試しいただくことができます。

「Quanti」はアプリックスの屋内測位/位置情報システム市場向けソリューション「groma™(グローマ)」の第2弾です。アプリックスは「Quanti」の提供と同時に、国内外法人からの「Quanti」を利用したシステムに関するご相談にも対応していきます。

製品サイトはこちら: <https://groma.jp/AprilTag>

<Quanti の使い方>

- ① iPhone または iPad に「Quanti」をインストールします。
App Store:
<https://itunes.apple.com/jp/app/quanti/id1434028363?mt=8>
- ② AR マーカー作成ページで必要な数の AR マーカーを作成し、シールシートなどに印刷します。
AR マーカー作成ページ:
<https://groma.jp/AprilTag/download>
- ③ 作成した AR マーカーを、箱やバインダーの背表紙など、管理するものに貼ります。
- ④ インストールした「Quanti」を起動し、管理しているものに向かってカメラをかざします。「Quanti」上でスキャンが開始され、番号(ID)が一覧表示されます。
- ⑤ 特定の番号のものを探し出したいときは、検索窓に番号を入力します。その番号は右図のように赤色で囲まれて表示されるので、すぐに発見することができます。



「Quanti」スキャン中の画面

<「Quanti」の特徴>

以下の特徴により、ダンボール箱やバインダーなど見た目がそっくりなもの、置き場所が変わるもの、整理していないもの、遠くにあるものなどの管理に特に便利です。

- ・ 探している番号が付けられた AR マーカーを、カメラをかざすだけで素早く見つけることができます。
 - ・ AR マーカーが上下逆になっていたり、横になっていたり、カメラ上で傾いた状態で写っていたりしても、AR マーカー全体がカメラに写ってさえいればスキャンできます。
 - ・ 数メートル以上離れたところからもスキャンできます。
- カメラの解像度や AR マーカーの大きさによりますが、AR マーカーの大きさが 5～6cm の場合、iPad Pro で 4m 程度の距離から検知することができます。

<カスタマイズと受託開発について>

「Quanti をこのように活用したい」、「Quanti にこのような機能を追加したい」、「在庫をクラウドで管理したい」、「Quanti を自社システムに組み込みたい」など、「Quanti」のカスタマイズや「Quanti」を利用した在庫管理システムなどの受託開発にも対応します。



「Quanti」ロゴ

<「Quanti」の命名の由来と使用している技術>

「Quanti」の名前は、イタリア語で数を尋ねるときの「いくつ」を意味する「quanti」と日本語の「感知(カンチ)」に由来しています。

「Quanti」はアプリックスの「groma AprilTag ソリューション」の1つで、AR マーカーには、米国ミシガン大学の AprilTags Visual Fiducial System プロジェクトで開発された「AprilTag^{*1}」を利用しています。「AprilTag」は AR、ロボット工学、カメラキャリブレーションなど広い用途で便利な座標基準マーカーです。普通のプリンタで印刷した AR マーカーの3次元空間上の位置や姿勢を、画像から正確に計算することができます。

また iOS 上の「AprilTag」の解析には、Inria (inventeurs du monde numérique) の Lagadic チームで開発された「ViSP (Visual Servoing Platform)^{*2}」を利用しています。「ViSP」は、視覚情報処理を行うためのクロスプラットフォームライブラリ(OS やハードウェアが異なる環境でも、共通して使用可能なプログラム部品)です。

<「groma」について>

「groma」はアプリックスの屋内測位/位置情報システム市場向けソリューションとして、2018 年6月に発表しました。同時に第1弾として「groma AprilTag ソリューション for SDM」を発表しています^{*3}。

発表当時は「groma」を仮称としましたが、この「Quanti」の発表をもって「groma」を正式名称とします。

「グローマ(ラテン語 Groma)」は、メソポタミアで発明されたとされる古代ローマの測量機器のことであり、直線および直角、並びに正方形および長方形の測量に用いられたとされるものです。

※1 「AprilTag」については、<https://april.eecs.umich.edu/software/apriltag.html> を参照。

※2 「ViSP」については、<https://visp.inria.fr/> を参照。

※3 2018/06/11 付アプリックスプレスリリース「屋内測位/位置情報システム市場向けソリューション「groma(仮称)」発表 ～ 第1弾「groma AprilTag ソリューション for SDM」を Interop Tokyo 2018 に参考出展 ～」参照。

■株式会社アプリックスについて

アプリックスの使命は「ソフトウェアの力で世の中のあらゆる人々に幸せをもたらすこと」です。携帯電話でのJava利用という新しいフロンティアを切り開いた「JBlend」に続き、開拓中の分野が、IoTです。当社ではIoTモジュール(ビーコン)、スマホアプリ、クラウドサービス等のIoTソリューションを一貫して提供することで、家電製品等のIoT化を推し進め、「モノからの通知によって人々の生活を豊かにする」というコンセプトの実現を目指しております。

アプリックスのwebsite(投資家情報等):<https://www.aplix.co.jp/>

アプリックスのテクノロジー事業:<https://business.aplix.co.jp/>

■お問い合わせ先:

お問い合わせのページ: <https://www.aplix.co.jp/inquiry/>

※記載されている会社名、製品名は各社の商標または登録商標です。